

授業科目 中枢神経系治療学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	理学
星 孝、非常勤講師		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 中枢神経疾患の病態や介入時期の違いによる理学療法を理解し、必要な評価項目を判断する。さらに理学療法の実施におよぶ基礎的な知識技術を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳卒中片麻痺患者について急性期、回復期、維持期に応じた障害像が説明できる 2. 脊髄損傷者の障害像について説明できる 3. 脳卒中片麻痺患者の合併症と予防の重要性を説明できる 4. 脳卒中患者の機能検査を列挙し説明できる 5. 脳卒中患者のリスク管理の重要性について検討し、説明できる 6. 脳卒中患者の症状を評価し、治療計画を立てることが出来る 7. クルーブワークにおいて自主的に取り組むことができ、またプレゼンテーションが実施できる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳卒中治療の流れ			1～6	講義、担当：星 孝
2	超急性期の脳卒中医療とリハビリの展開			1～6	講義、担当：星 孝
3	急性期の脳卒中医療とリハビリの展開			1～6	講義、担当：星 孝
4	全身管理を考慮した理学療法の展開			1～6	講義、担当：星 孝
5	離床へのガイドライン			1～6	講義、担当：星 孝
6	脳卒中ケースに対する運動療法 1			1～6	講義、担当：星 孝
7	症例を通じた検討（PBL） 1			6, 7, 8	講義、担当：星 孝
8	脳卒中ケースに対する運動療法 2			1～6	講義、担当：星 孝
9	症例を通じた検討（PBL） 2			6, 7	講義、担当：星 孝
10	脊髄損傷の理学療法（1）			2	講義：五十嵐PT
11	脊髄損傷の理学療法（2）			2	講義：五十嵐PT
12	運動失調を伴うケースに対する運動療法			6, 7	講義、担当：星 孝
13	症例を通じた検討（PBL） 3			6, 7	講義、担当：星 孝
14	加療時期による理学療法的治療展開の違い			6, 7	講義、担当：星 孝
15	症例検討を通じた治療学総括（病態と障害像と評価）			6, 7	講義、担当：星 孝
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		脳卒中最前線 第4版	藤田勉 他	医歯薬出版	2009・9,240円
参考書		ステップス・トゥ・フォロー 改訂 第2版	P.M. デービス	丸善出版	2012・5,040円
		病気がみえる Vol.7 脳・神経	医療情報科学研究所	株式会社 メディック メディア	2011・3,800円
		リハビリテーション リスク管理ハ ンドブック 改訂第2版	亀田メディカルセン ター	株式会 社 メジカル ビュー社	2012・4,410円
その他の資料					
【評価方法】 単位修得規程の出席条件に満たないものは、本科目試験の受験は不可とする。 授業時の主体的学習態度やグループ討議において、積極的参加が望まれる。 期末試験の結果を主とし、授業で課すレポートの提出とその内容も加味して本科目の評価を行う			【履修上の留意点】 実技の授業展開になるときがあるので、動きやすい服装で参加すること		